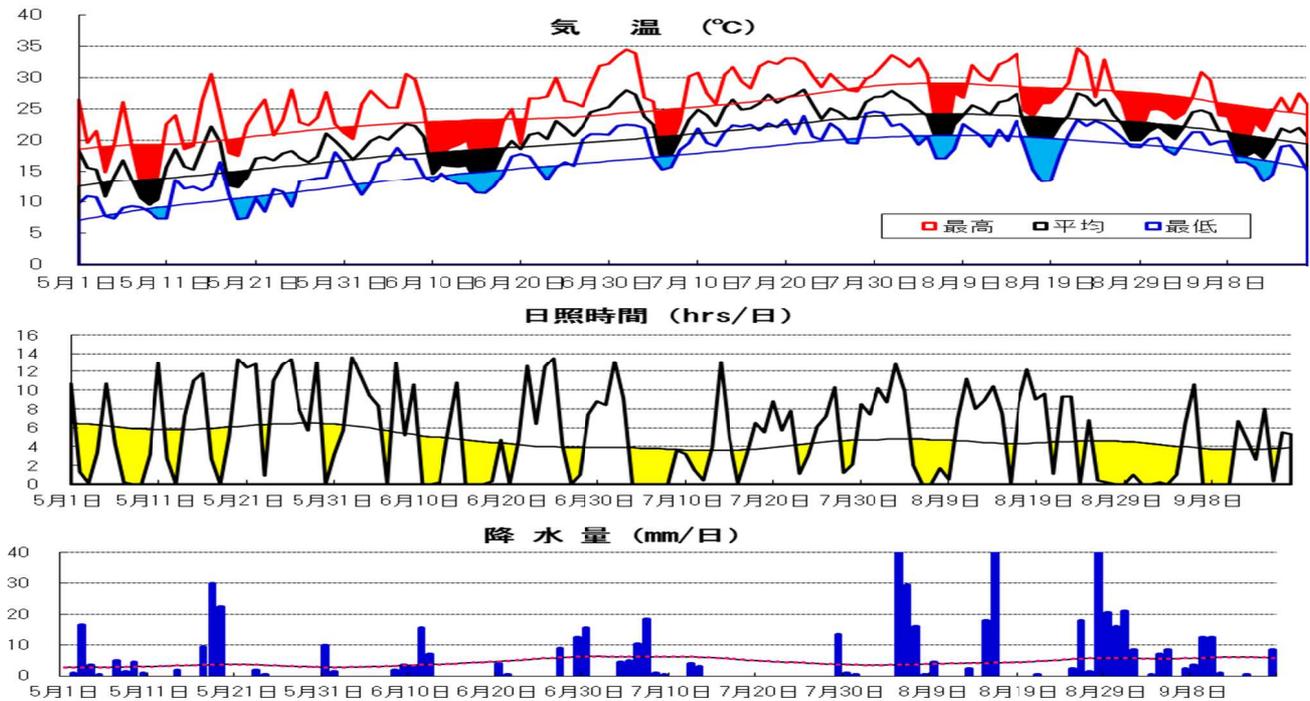


～茎長は並～短く・総節数は並～少ない，収穫に備えた排水対策を！～

1 気象経過



旬別の気象経過（アメダス古川）

項目	月・旬	5月				6月			7月			8月		
		下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
平均 気温	本年値(°C)	18.0	19.7	16.2	22.5	23.1	25.4	25.5	24.0	23.3	23.7			
	平年差(°C)	+2.0	+2.1	-2.4	+3.1	+2.6	+3.6	+2.1	-0.3	-0.6	+0.6			
積算 日照時間	本年値(h)	93.0	77.2	21.7	70.9	37.4	47.8	60.5	52.8	85.5	28.1			
	平年比(%)	134	130	44	179	98	133	121	107	205	57			
積算 降水量	本年値(mm)	12.5	10.0	26.5	37.5	40.0	7.0	15.0	112.5	77.5	131.5			
	平年比(%)	34	33	63	65	68	12	32	308	189	191			

- ・播種後7月までは、6月中旬を除き、ほぼ高温多照で経過した。
- ・8月に入り上中旬は高温と低温が断続的に出現し、平均気温は平年を下回った。
- ・降水量は、7月までは平年よりかなり少雨傾向に経過したが、8月上中旬は一転して多雨となった。

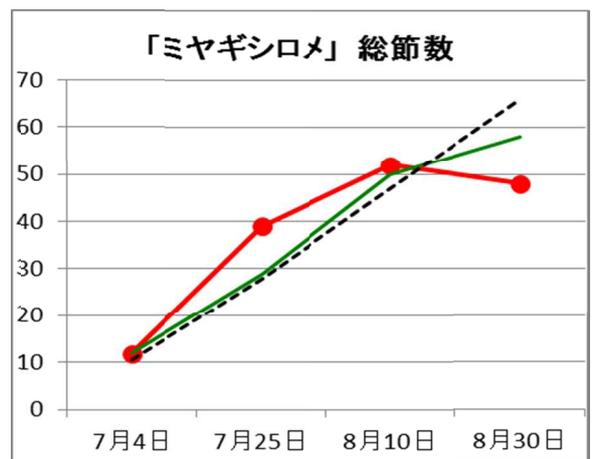
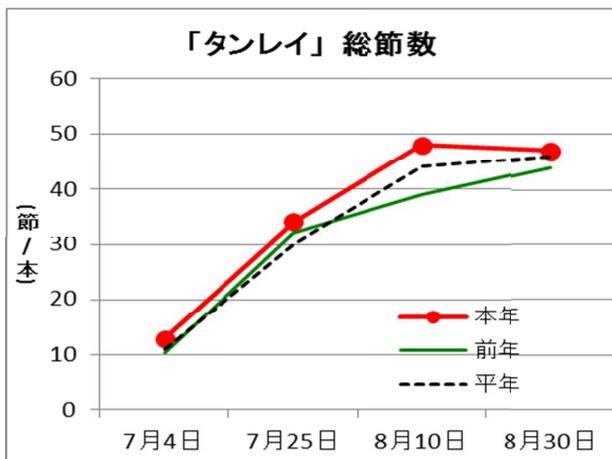
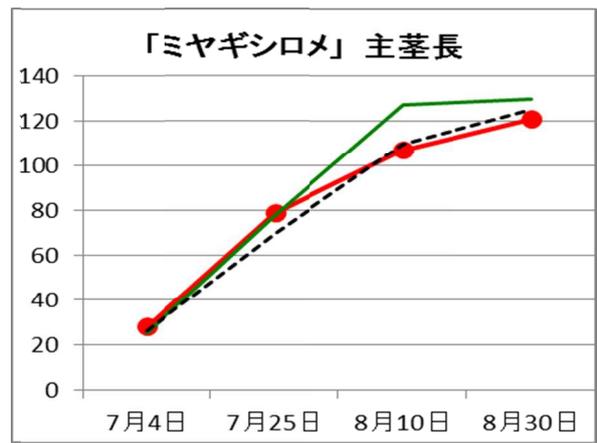
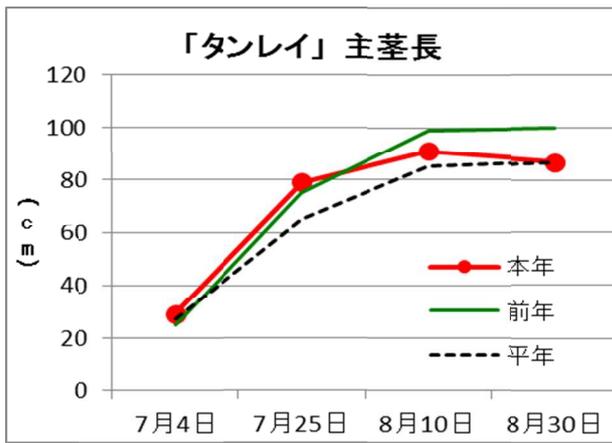
2 生育状況

(古川農業試験場作況試験圃)

[5月26日播種]

- ・タンレイの主茎長は、8月10日までは平年より高く、それ以降は前年よりは低く推移した。
- ・ミヤギシロメの主茎長は、ほぼ平年並に経過したが、前年よりは並～低く推移した。
- ・タンレイの総節数は、平年及び前年より上回って推移した。
- ・ミヤギシロメの総節数は、8月10日までは前平年を上回っていたが、8月30日では少ない。
- ・8月30日現在では、低温と多雨により前回調査からの増加が少なく、主茎節数を除いて並～下回っている。
- ・ミヤギシロメは、蔓化・倒伏が著しく、主茎や分枝の腐敗が見られ、総節数及び着莢節数が少ない。
〔但し、現地の普及センターの大豆生育調査圃の調査では、それほど平年より少なくなっていない。〕

※県内の圃場では、長雨の影響により一部圃場に灌水が見られ、枯死株が散見される。



3 今後の管理

1 病害虫防除 (病害虫防除所)

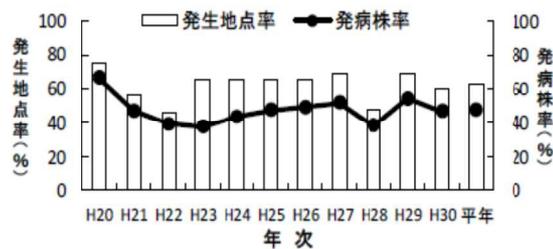
【紫斑病】発生量はやや多い予報

- ・晩播や生育の遅れている圃場では、開花期の20~40日後に1~2回防除する。



【べと病】

- ・発生量はやや多い予報だったが8月下旬調査では並であった。



2 適期収穫に向けた排水対策

- ・収穫は天候に大きく左右され、排水が悪いと品質収量が低下する。
- ・圃場条件や収穫機械を整備し速やかに収穫作業ができるように準備する。
- ・収穫作業に備え圃場内や圃場周辺の排水対策を講じておく。

